

# 埼玉県がん対策推進計画 中間評価

平成28年3月

埼玉県

## 目 次

埼玉県がん対策推進計画 中間評価について	1
がんを取り巻く状況（統計資料）	2
埼玉県がん対策推進計画の個別目標に対する評価	12
個別目標ごとの課題・取組	14

## 埼玉県がん対策推進計画 中間評価について

### 1 趣旨

本県では、がん対策の確実な推進を図るため、学識経験者、医療関係者、関係団体、がん患者・県民の代表等で構成される「埼玉県がん対策推進協議会」において、進捗状況の把握や評価等について協議、検討を行っている。

がんを取り巻く状況変化が速いことから、平成27年度に中間評価を行うこととしている。

評価に当たっては、計画に掲げた目標の進捗状況等を把握し、今後の取組等について埼玉県がん対策推進協議会の意見を聴きながら検討した。

### 2 評価の考え方

個別目標の目標値に対する達成状況をA～Cの区分で表示した。

A：順調に推移している

目標達成済み

B：概ね順調だが、目標の達成には更なる取組を要する

C：目標年度までに目標の達成が困難

### 3 中間評価の構成

がんを取り巻く現状

具体的な取り組みについて

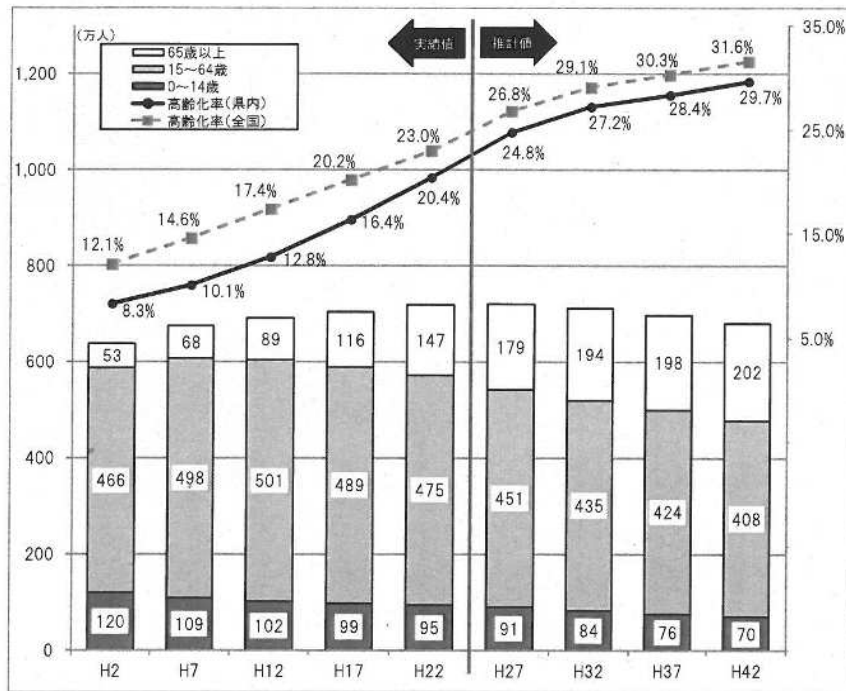
- ・個別目標
- ・評価
- ・目標達成に向けた取り組み状況
- ・課題や今後の取り組み

1 個別目標の評価が「B」「C」のものは個別に課題や今後の取り組みを追加した。

2 埼玉県がん対策推進協議会委員の意見を基に、個別目標上の評価は低いですが、関連する取組として評価できるものを「個別目標に関連する取組」として併記した。

# 埼玉県人口

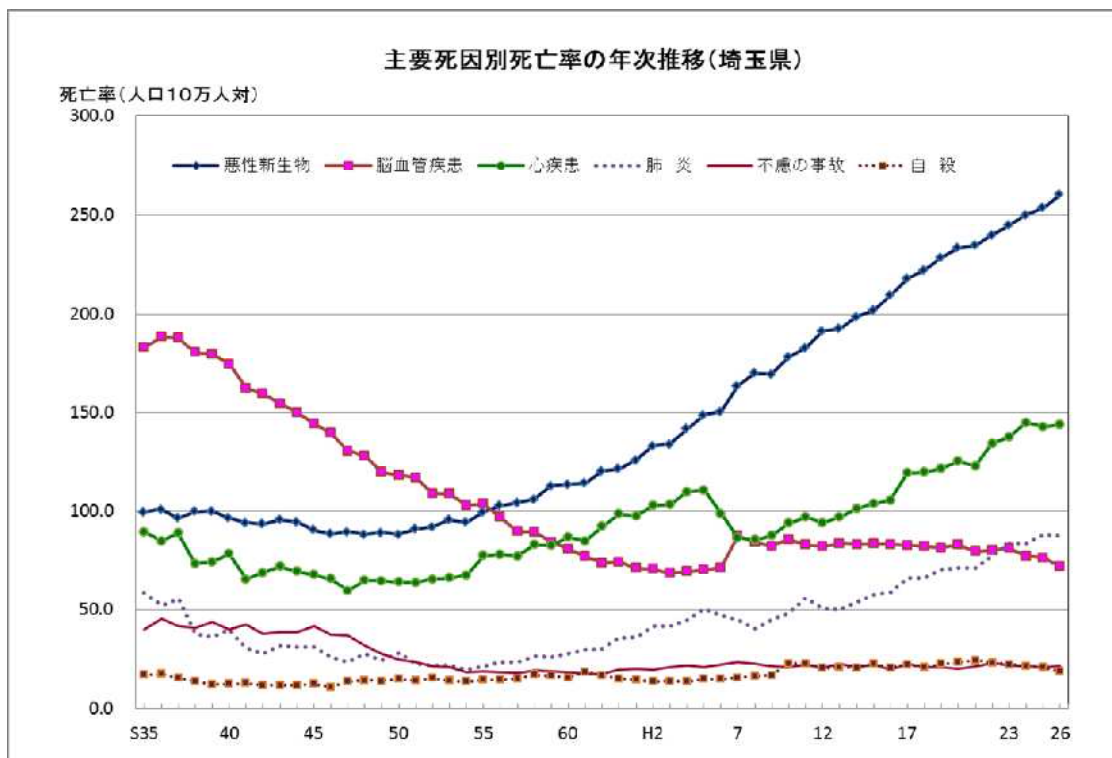
○ 本県の将来人口及び高齢化率の見通し



H2～H22 総務省「国勢調査」  
 H27～ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年（2013年）3月推計）」

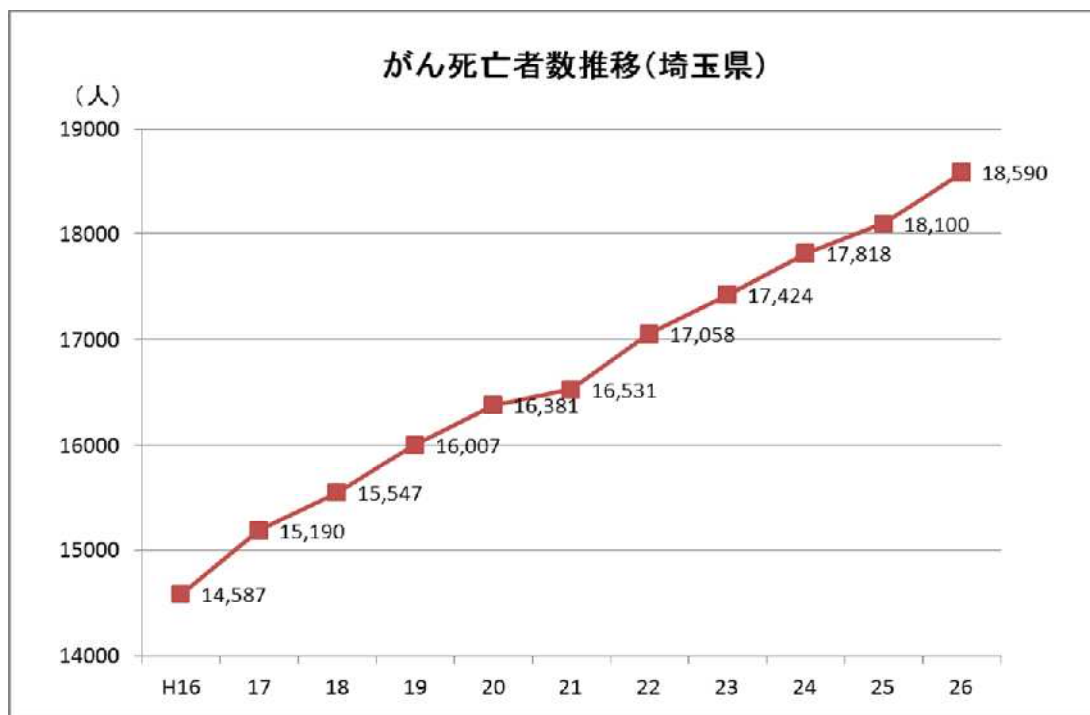
出典：埼玉県高齢者支援計画

# 死因別死亡率



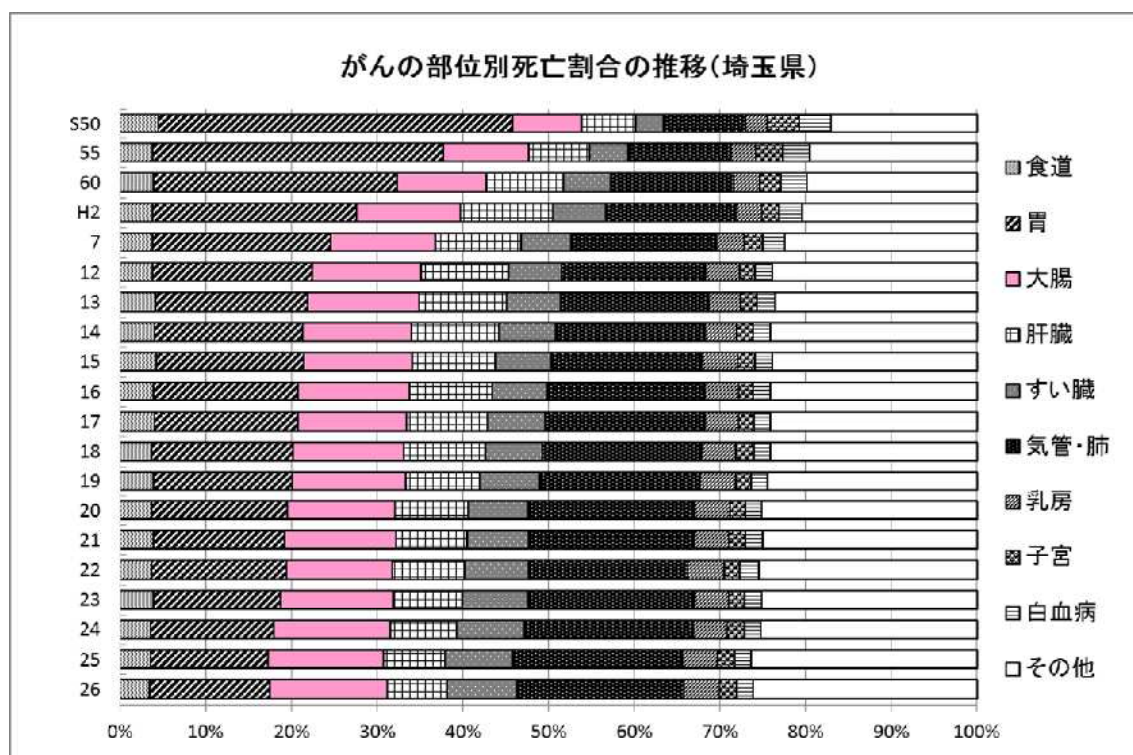
出典：埼玉県人口動態概況

## 悪性新生物死亡数



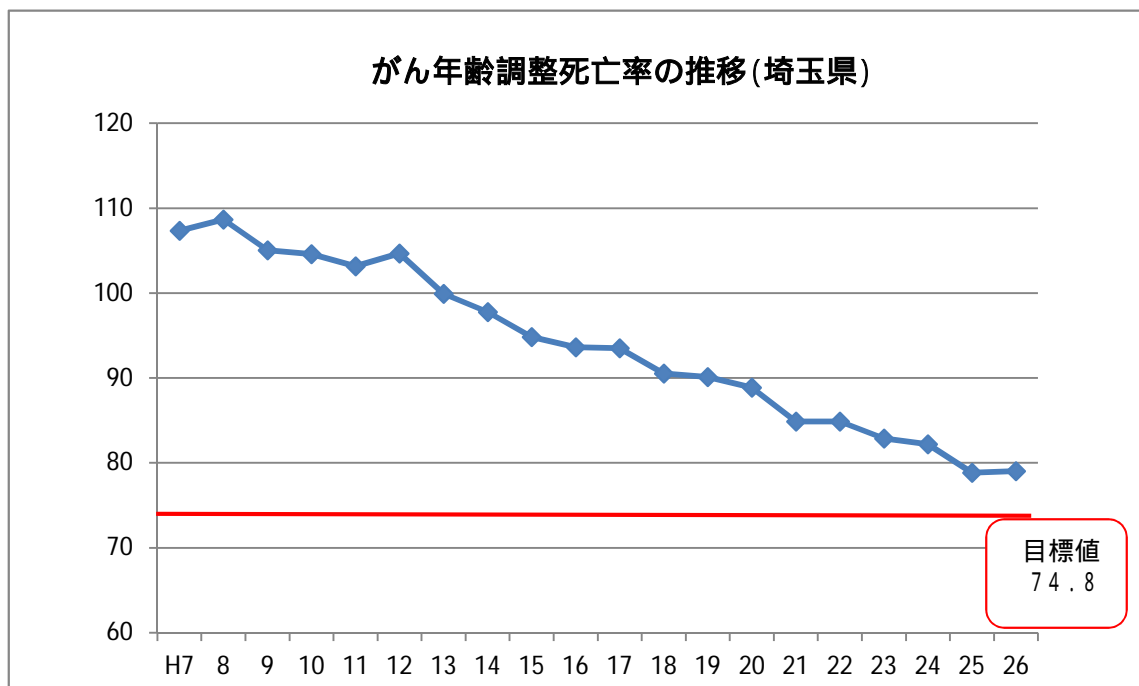
出典: 埼玉県人口動態概況

## がん部位別死亡割合



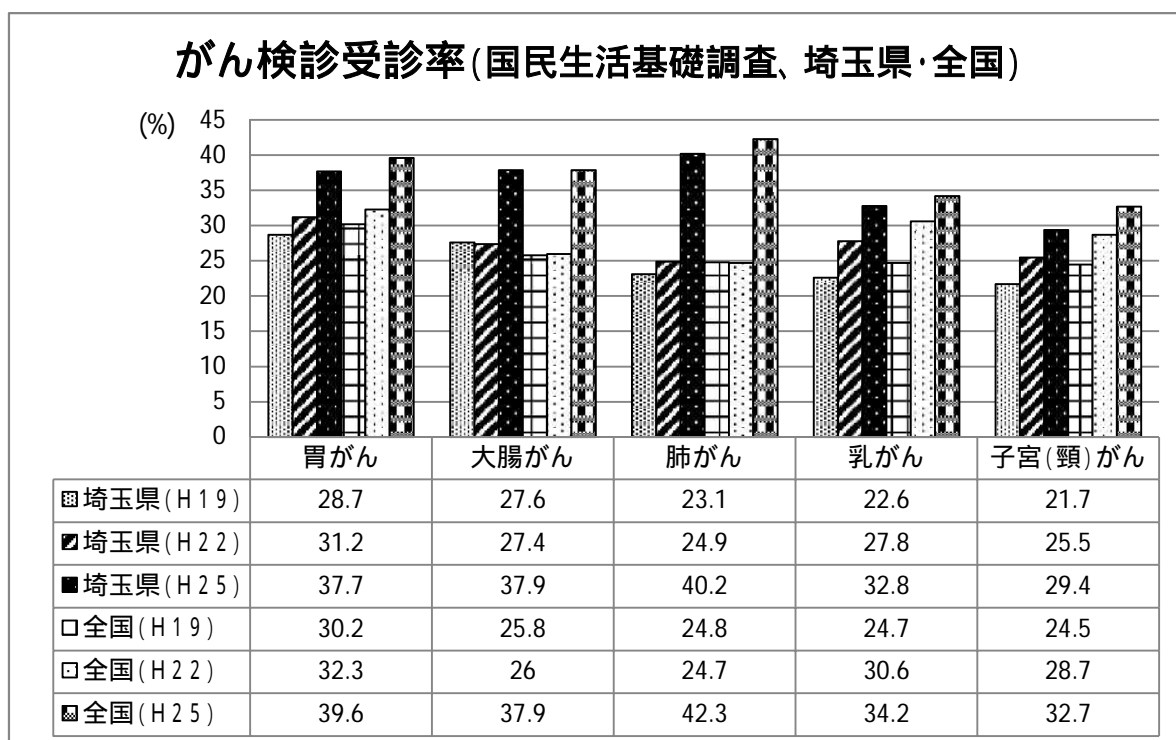
出典: 埼玉県人口動態概況

## がん年齢調整死亡率(75歳未満)

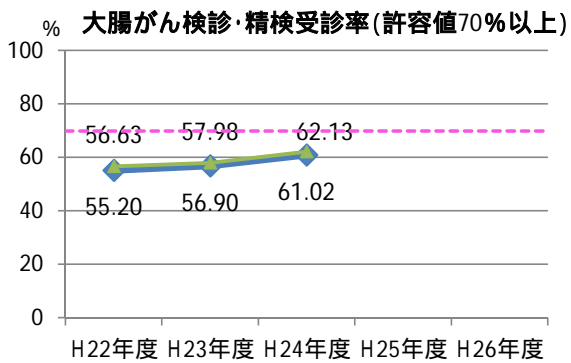
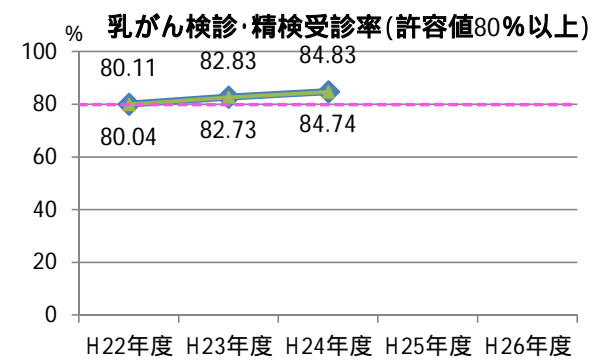
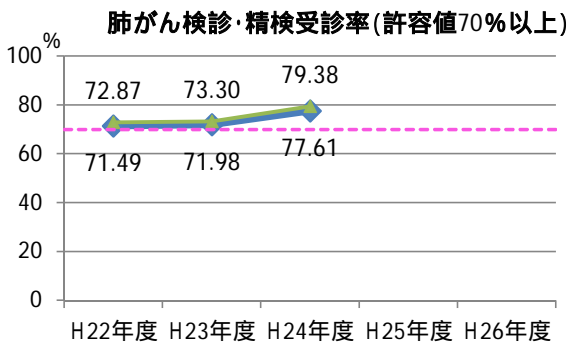
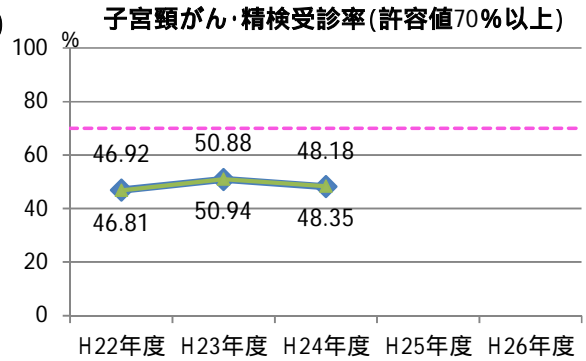
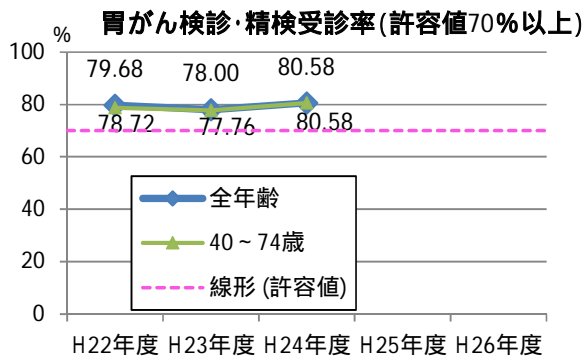


出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

## がん検診受診率



# がん検診精度管理



出典: がん検診結果統一集計(疾病対策課)

## がん診療連携拠点病院の実績

上段は計画策定時(H23.10調べ)、下段はH27.10調べ

	病院名	新入院 がん患者数 (年間)	年間新入院 患者数に 占めるがん 患者の割合 (%)	悪性腫瘍 手術総数 (4～7月)	放射線治療 患者実数 (年間)	化学療法 のべ患者数 (4～7月)
1	県立がんセンター	7,856	92	684	1,254	5,584
		8,195	96.0	1,105	1,278	6,706
2	さいたま赤十字病院	2,876	19	246	301	364
		3,313	20.7	901	234	470
3	さいたま市立病院	2,077	17	161	188	323
		1,895	14.6	404	255	380
4	自治医科大学附属さいたま医療センター	-	-	-	-	-
		3,444	23.6	315	284	1,108
5	川口市立医療センター	1,973	19	197	452	440
		2,288	18.8	258	333	452
6	埼玉県済生会川口総合病院	1,663	16	170	118	248
		1,789	15.7	537	139	234
7	戸田中央総合病院	-	-	-	-	-
		1,590	15.9	201	236	281
8	国立病院機構埼玉病院	2,599	30	242	363	491
		1,617	14.7	164	244	251
9	埼玉医科大学総合医療センター	1,161	11	359	667	1,790
		1,568	14.5	407	764	1,026
10	埼玉医科大学国際医療センター	3,415	45	779	1,435	3,876
		3,705	42.3	930	1,392	1,266
11	深谷赤十字病院	2,011	23	169	243	1,262
		2,131	21.4	261	200	1,393
12	春日部市立病院	1,416	25	104	315	442
		1,413	23.1	150	277	352
13	獨協医科大学越谷病院	3,090	21	408	481	1,145
		3,915	22.7	350	410	974

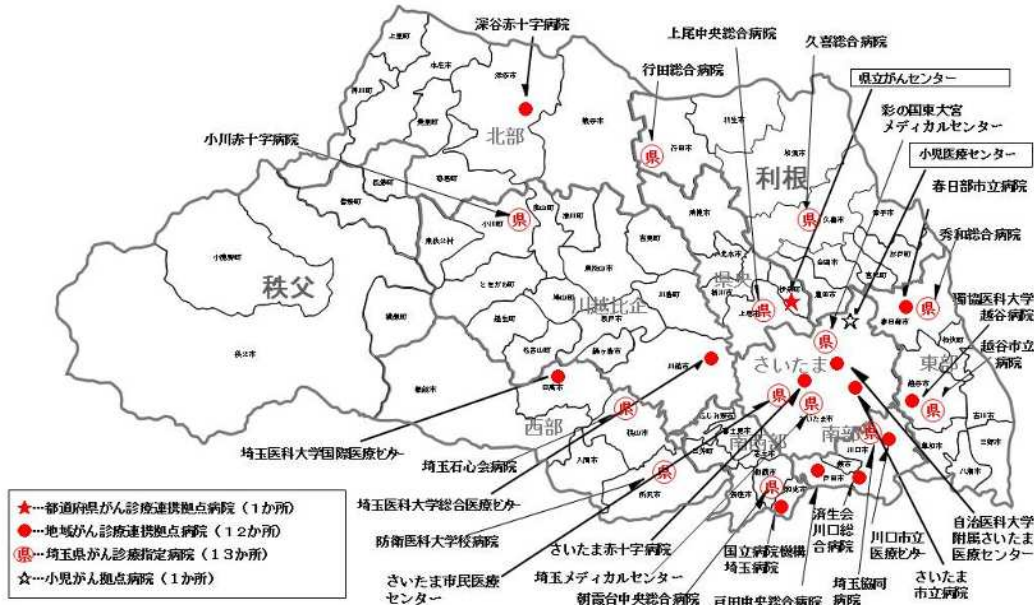
資料:がん診療連携拠点病院現況報告書



# 医療体制

がん診療連携拠点病院、埼玉県がん診療指定病院の指定状況

平成28年1月1日現在



(1) がん診療連携拠点病院、埼玉県がん診療指定病院

2次保健医療圏	がん診療連携拠点病院(13)	埼玉県がん診療指定病院(13)
県 央	県立がんセンター	上尾中央総合病院
さいたま	さいたま赤十字病院	埼玉メディカルセンター
	さいたま市立病院	彩の国東大宮メディカルセンター
	自治医科大学附属さいたま医療センター	さいたま市民医療センター
南 部	川口市立医療センター	埼玉協同病院
	埼玉県済生会川口総合病院	
	戸田中央総合病院	
南 西 部	国立病院機構埼玉病院	朝霞台中央総合病院
川越比企	埼玉医科大学総合医療センター	小川赤十字病院
西 部	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉石心会病院
		防衛医科大学校病院
北 部	深谷赤十字病院	
東 部	春日部市立病院	秀和総合病院
	獨協医科大学越谷病院	越谷市立病院
利 根		行田総合病院
		久喜総合病院
秩 父		

(2) 小児がん拠点病院[全国15病院指定]

県立小児医療センター

## 医療従事者

### がん関係専門医

上段は計画策定時(H24.11調べ)、下段はH28.1調べ

名称	認定学会等	埼玉県	東京都	神奈川県	千葉県	栃木県	群馬県	茨城県	全国
がん治療認定医	日本がん治療認定医機構	349	1,680	626	396	157	178	185	11,051
		444	2,082	881	517	186	211	207	14,011
がん治療認定医 (歯科口腔外科)	日本がん治療認定医機構	3	24	14	9	4	3	4	216
		5	39	25	13	11	3	7	355
がん薬物療法専門医	日本臨床腫瘍学会	12	110	37	26	3	8	3	711
		21	158	60	38	5	11	7	1,030
がん薬物療法指導医	日本臨床腫瘍学会	1	15	7	4	1	1	0	39
		8	66	24	19	1	7	0	429
専門医	日本緩和医療学会	1	8	0	2	0	1	1	39
		3	21	7	8	1	2	1	108
暫定指導医	日本緩和医療学会	21	90	34	26	7	14	9	607
		20	82	34	25	4	13	10	570

出典:各学会HP

### がん関係専門職

名称	認定学会等	埼玉県	東京都	神奈川県	千葉県	栃木県	群馬県	茨城県	全国
がん看護専門看護師	公益社団法人日本看護協会	4	60	35	13	2	12	3	327
		15	103	57	23	8	18	6	656
がん関係認定看護師	公益社団法人日本看護協会	125	368	279	111	39	50	51	3,231
		167	453	349	163	53	63	72	4,446
がん専門薬剤師	社団法人日本病院薬剤師会	1	30	3	7	1	2	1	241
		3	76	10	22	4	2	2	482
がん薬物療法認定薬剤師	社団法人日本病院薬剤師会	26	98	54	25	14	13	21	1,002
		28	107	57	41	13	16	24	939

緩和ケア、がん化学療法、がん性疼痛、乳がん、がん放射線療法看護

出典:各学会HP

## 緩和ケア

緩和ケア病棟一覧		計画策定時	(H27.8)
病院名	所在地	病床数	病床数
県立がんセンター	伊奈町	18	36
戸田中央総合病院	戸田市	18	18
上尾甞生病院	上尾市	15	15
みさと健和病院	三郷市	20	20
埼玉石心会病院	狭山市	8	8
行田総合病院	行田市	21	21
彩の国東大宮メディカルセンター	さいたま市		22
埼玉協同病院	川口市		24
吉川中央総合病院	吉川市		14
毛呂病院	毛呂山町		12
三浦病院	富士見市		21
上尾中央総合病院	上尾市		21
合計		100	232

出典：特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会

## 小児がん治療等実績(県立小児医療センター)

### 入院患者数(実数)

#### ・血液腫瘍科

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
181	195	193	219	218	249

#### ・脳神経外科

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
33	38	41	24	36

#### ・小児外科

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
37	57	41	38	40

出典：小児医療センターHP

## がん教育

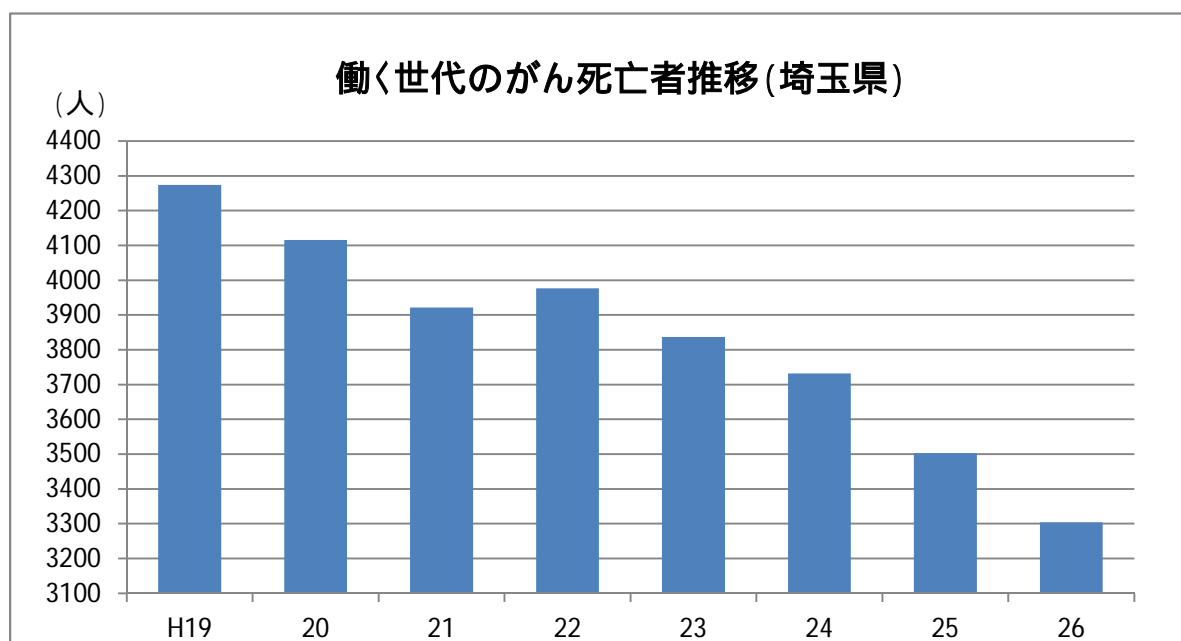
### がん教育出前講座開催回数

	H25年度	H26年度	H27年度	計
公立	3	6	1	10
私立	4	2	2	8
計	7	8	3	18

### 参加生徒数

	H25年度	H26年度	H27年度	計
公立	656	3315	370	4341
私立	1486	141	1607	3234
計	2142	3456	1977	7575

### 働く世代の死亡者数(20歳～64歳)



出典:埼玉県人口動態概況

# マンモグラフィ検査実施医療機関

(H28.1.1) 49市町村

		病院	診療所	
全体		115	65	
1 2 3 4	南部	川口市	8	4
		蕨市	1	0
		戸田市	2	2
		朝霞市	3	0
5 6 7 8 9	南西部	和光市	1	1
		新座市	2	1
		富士見市	1	2
		ふじみ野市	1	1
		三芳町	2	0
10 11 12 13 14 15	東部	春日部市	4	1
		草加市	3	0
		越谷市	3	2
		八潮市	1	0
		三郷市	3	2
		吉川市	1	1
16		松伏町	1	0
17	さいたま	さいたま市	16	19
18 19 20 21 22	県央	鴻巣市	0	3
		上尾市	2	2
		桶川市	1	0
		北本市	1	0
		伊奈町	2	1
23 24		川越市	7	2
		東松山市	4	1

		病院	診療所	
25 26 27 28 29 30	川越比企	坂戸市	1	3
		鶴ヶ島市	1	0
		毛呂山町	1	0
		小川町	1	0
		川島町	0	1
		吉見町	0	1
31 32 33 34 35	西部	所沢市	9	4
		飯能市	1	1
		狭山市	3	1
		入間市	4	0
		日高市	2	1
36 37 38 39 40 41	利根	行田市	2	1
		加須市	0	1
		羽生市	1	0
		久喜市	3	0
		蓮田市	1	0
		幸手市	1	0
42 43 44 45	北部	白岡市	1	0
		熊谷市	4	2
		本庄市	2	0
		深谷市	2	2
46 47 48 49	秩父	寄居町	1	1
		秩父市	2	1
		皆野町	1	0
		小鹿野町	1	0

出典: 埼玉県医療機能情報提供システム

総計	115	65
----	-----	----


## 埼玉県がん対策推進計画の個別目標に対する評価

重点的に取り組むべき課題	個別目標(21)	目標値	目標年度	最新値(時点)	評価	評価の考え方
1. がんの予防とがん検診の受診率及び質の向上	成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	12%	平成34年度	23.6% (平成25年国民健康・栄養調査)	(A)	喫煙率は、順調に推移している。(最新値が平成25年のため、評価は参考とした)
	がん検診受診率	50.0%	平成29年度	胃がん検診 (男性44.5%、女性30.9%) 肺がん検診 (男性46.2%、女性34.3%) 大腸がん検診 (男性40.6%、女性35.2%) 子宮頸がん検診 (29.4%) 乳がん検診 (32.8%) (平成25年国民生活基礎調査)	(B)	受診率は上昇傾向にあるが、目標の達成には更なる取組みを要する。(最新値が平成25年のため、評価は参考とした)
	がん検診受診推進サポーター・がん検診県民サポーター養成者数	13,000人	平成29年度	13,213人 (平成27年11月末現在)	A	目標達成済み
	がん検診受診率(再掲)	50.0%	平成29年度	子宮頸がん検診 (29.4%) 乳がん検診 (32.8%) (平成25年国民生活基礎調査)	(B)	受診率は上昇傾向にあるが、目標の達成には更なる取組みを要する。(最新値が平成25年のため、評価は参考とした)
	乳がん検診マンモグラフィ読影認定医数	650人	平成29年度	348人(平成27年5月)	C	認定医の養成は着実に進めているが、計画策定時に比べ認定医数が減少しており、目標の達成は困難。
	肝炎医療研修会受講修了者数	1,700人	平成28年度	1,722人(平成27年11月1日現在)	A	目標達成済み
2. 質の高いがん医療の提供	県立がんセンターの新病院整備による機能強化		平成25年度	新病院のオープン (平成25年12月30日)	A	目標達成済み
	拠点病院のがん治療専門医の増員		平成29年度	-	A	順調に推移している
	小児がん拠点病院の整備・充実		平成29年度	小児がん拠点病院の指定 (平成25年2月8日)	B	目標の達成には更なる取組を要する
	小児がん医療連携体制を構築		平成29年度	-	B	目標の達成には更なる取組を要する
	県立小児医療センターの新病院整備による機能強化		平成27年度	建設工事の着手(平成26年2月)	A	順調に推移している
3. がんと診断された時からの緩和ケアの推進と相談支援等の充実	緩和ケアセンターの整備数	1か所	平成26年度	1か所	A	目標達成済み
	がん診療に携わるすべての医師が緩和ケア研修を終了している拠点病院	全拠点病院	平成29年度	0か所	B	研修実施の取り組みは十分行われているが、目標の達成には更なる取組を要する
	地域統括相談支援センターの設置数	1か所	平成29年度	0か所	B	設置に向け更なる取組を要する
	がん文庫の設置	全拠点病院	平成29年度	0か所	C	拠点病院における図書室の設置は進んでいるが、がん文庫は設置されておらず、目標の達成は困難
	がん患者サロンの設置	全拠点病院	平成29年度	12か所(平成27年9月1日)	A	順調に推移している
	ピアサポーターによる対応が可能な相談支援センター	全拠点病院	平成29年度	1か所	B	目標達成に向け更なる取組を要する

## 埼玉県がん対策推進計画の個別目標に対する評価

重点的に取り組むべき課題	個別目標(21)	目標値	目標年度	最新値(時点)	評価	評価の考え方
4. がん患者の在宅医療の推進	(仮称)がん在宅療養相談支援センターの設置数	15か所	平成29年度	5か所	B	目標達成に向け更なる取組を要する
	在宅療養支援診療所数	700か所	平成29年度	491か所(平成27年4月1日)	B	目標達成に向け更なる取組を要する
	がん患者の在宅看取り率	10%	平成29年度	9.8% (平成25年人口動態統計)	(A)	順調に推移している(最新値が平成25年のため、評価は参考とした)
5. がん登録の推進	県内のがん患者の実態を把握している割合	70%	平成29年度	-	A	順調に推移している
6. がんの教育と普及啓発及び働く世代へのがん対策の充実	がん検診受診推進サポーター・がん検診県民サポーター養成者数(再掲)	13,000人	平成29年度	13,213人 (平成27年11月末現在)	A	目標達成済み
	就労等に関する相談対応が可能な相談支援センター	全拠点病院	平成29年度	全ての拠点病院	A	目標達成済み

個別目標	がん検診受診率
------	---------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
胃がん検診 (男性 33.1%、女性 24.8%) 肺がん検診 (男性 25.1%、女性 20.9%) 大腸がん検診 (男性 29.8%、女性 24.1%) 子宮がん検診 (22.3%) 乳がん検診 (22.9%) (平成22年国民生活基礎調査)	50.0%	平成29年度	胃がん検診 (男性 44.5%、女性 30.9%) 肺がん検診 (男性 46.2%、女性 34.3%) 大腸がん検診 (男性 40.6%、女性 35.2%) 子宮頸がん検診 (29.4%) 乳がん検診 (32.8%) (平成25年国民生活基礎調査)	

### 取組状況

- ・民間活力の導入  
 民間企業とがん包括連携協定を締結し、がん検診受診率の向上に向けた取組を実施  
 H26.11 2企業1団体と締結  
 H27.5 1企業と締結  
 (H21～累計31企業・団体と締結)
- ・女性ががん検診受診率向上に向けた取組  
 女性ががん検診未受診者に対する個別通知・再勧奨の実施  
 H26～ 全市町村による統一的実施
- ・がん検診受診環境整備  
 市町村に対し、土日実施、夜間実施、特定健診との同時実施などの工夫の働きかけ

評価	コメント
(B)	受診率は上昇傾向にあるが、目標の達成には更なる取組を要する。 (最新値が平成25年のため、評価は参考とした)

### 個別目標達成に向けた課題


- 受診勧奨の方法や受診率向上の取組について市町村による差が見られる。
- ・土日検診実施43市町村(5がん全てで実施)
  - ・平日夜間実施34市町村(5がんのうち一部実施含む)
  - ・近隣市町村で受診可能35市町村(5がんのうち一部実施含む)  
(H26年度)
- 市町村が実施するがん検診の精密検査の受診率が十分でないものが見受けられる。
- ・胃がん 80.58% (70%以上)
  - ・肺がん 79.38% (70%以上)
  - ・大腸がん 62.13% (70%以上)
  - ・子宮頸がん 55.28% (70%以上)
  - ・乳がん 84.74% (80%以上)
- (がん検診結果統一集計H24年度:( )内は許容値)
- がん検診受診者の多くを占める職域の保険者が実施する検診受診勧奨策の把握が困難。

### 課題解決に向けた取組

- 各市町村ごとの受診率と受診勧奨方法、受診率向上の取組など比較可能なデータを公表することで市町村の施策の促進を図る。  
 また、職域の保険者と協力し、保険者の実施する特定健診と市町村が提供するがん検診が同時に実施できる体制を推進する。
- 市町村担当者会議を開催し、がん検診結果統一集計の結果について説明、情報提供を行う
- がん包括連携協定企業等の協力を仰ぎ、企業のがん検診の実態把握に努める。



個別目標	がん検診受診率(再掲)
------	-------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
子宮がん検診(22.3%) 乳がん検診(22.9%) (平成22年国民生活基礎調査)	50.0%	平成29年度	子宮頸がん検診(29.4%) 乳がん検診(32.8%) (平成25年国民生活基礎調査)	


取組状況
<p>・民間活力の導入 民間企業とがん包括連携協定を締結し、がん検診受診率の向上に向けた取組を実施 H26.11 2企業1団体と締結 H27.5 1企業と締結 (H21～累計31企業・団体と締結)</p> <p>・女性がん検診受診率向上に向けた取組女性がん検診未受診者に対する個別通知・再勧奨の実施 H26～ 全市町村による統一の実施</p> <p>・がん検診受診環境整備 市町村に対し、土日実施、夜間実施、特定健診との同時実施などの工夫の働きかけ</p>

評価	コメント
(B)	受診率は上昇傾向にあるが、目標の達成には更なる取組みを要する。 (最新値が平成25年のため、評価は参考とした)

個別目標達成に向けた課題
<p>受診勧奨の方法や受診率向上の取組について市町村による差が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土日検診実施43市町村(5がん全てで実施)</li> <li>・平日夜間実施34市町村(5がんのうち一部実施含む)</li> <li>・近隣市町村で受診可能35市町村(5がんのうち一部実施含む)</li> <li>・リコール(子宮頸がん)35市町村</li> <li>・リコール(乳がん)31市町村</li> </ul> <p>(H26年度)</p> <p>市町村が実施するがん検診の精密検査の受診率が十分でないものが見受けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん 55.28% (70%以上)</li> <li>・乳がん 84.74% (80%以上)</li> </ul> <p>(がん検診結果統一集計H24年度:( )内は許容値)</p> <p>がん検診受診者の多くを占める職域の保険者が実施する検診受診勧奨策の把握が困難。</p>

課題解決に向けた取組
<p>各市町村ごとの受診率と受診勧奨方法、受診率向上の取組など比較可能なデータを公表することで市町村の施策の促進を図る。 また、職域の保険者と協力し、保険者の実施する特定健診と市町村が提供するがん検診が同時に実施できる体制を推進する。</p> <p>市町村担当者会議を開催し、がん検診結果統一集計の結果について説明、情報提供を行う</p> <p>がん包括連携協定企業等の協力を仰ぎ、企業のがん検診の実態把握に努める。 また、ピンクリボン運動や女性向けイベントを通じたがん検診受診勧奨を推進する。</p>

個別目標	乳がん検診マンモグラフィ読影認定医数
------	--------------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
399人 (平成23年度)	650人	平成29年度	348人 (平成27年5月)	

取組状況
・乳がんマンモグラフィ読影認定医師の養成 (H25～の累計51人)

評価	コメント
C	認定医の養成は着実に進めているが、計画策定時に比べ認定医数が減少しており、目標の達成は困難。


個別目標達成に向けた課題
県外転出等による認定医師の減に対し、養成者数が追い付かない状況である。マンモグラフィ設置医療機関数の促進を図る必要がある。

課題解決に向けた取組
埼玉県乳がん検診セミナーの参加を促進し、認定医師養成に向け底上げを図る。医療機関に対する検診用マンモグラフィ設置の支援

【個別目標に関連する取組】

- ・埼玉県乳がん検診セミナー参加者(対象:がん検診従事者及び関係者)  
H25年度 94名、H26年度74名、H27年度94名
- ・乳がん検診受診者数  
H25年度 170,909人 → H26年度 180,496人(出典:がん検診結果統一集計)

個別目標	小児がん拠点病院の整備・充実
------	----------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
小児がん拠点病院の指定 (H25.2.8)		平成29年度	小児がん拠点病院の指定 (平成25年2月8日)	


取組状況
・小児がん拠点病院機能強化事業の実施 小児がん医療従事者研修、 院内がん登録、がん相談支援、 プレイルームの運営、入院患者家族支援

評価	コメント
B	目標の達成に向け更なる取組を要する

個別目標達成に向けた課題
<p>診療面では、拠点病院指定後、高校生患者をはじめ入院患者数が増加し、それに伴い再発・難治例も増加している。</p> <p>また、小児医療センターの臨床研究体制は、同時に指定された他県の小児病院と比しても低い水準であって、早急に体制を整備する必要がある。</p> <p>医療教育では、小児がん診療病院向け看護専門研修ほか医療従事者向け研修を充実する必要がある。</p> <p>また、相談支援関係では、患者ご家族をはじめ、医療機関からの相談・問い合わせが急増しており、相談支援体制を充実する必要がある。</p>

課題解決に向けた取組
<p>診療面では、医師をはじめ病棟薬剤師の配置など、診療体制を強化するとともに、埼玉県内の診療病院との連携強化のための支援を行い、県全体の診療機能を向上させる。</p> <p>研究体制整備として、H28年度、小児臨床研究センター(仮称)を設置し、文部科学省の研究機関登録を行い、臨床研究体制を整備・充実する。</p> <p>医療従事者向け研修としては、さいたま新都心の立地を生かし、看護をはじめがんりハ、緩和ケア、相談員・CLS等がん診療従事者の研修を企画し、診療病院内のチーム医療の向上を図る。</p> <p>相談支援面では、引き続き相談支援体制の充実を図るとともに、患者家族会等を支援し、相互に相談できる体制づくりを支援する。</p>

個別目標	小児がん医療連携体制を構築
------	---------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
		平成29年度		

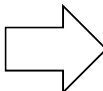
取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県小児がん診療病院連携協議会発足(平成26年3月3日)</li> <li>・関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会参加</li> </ul>

評価	コメント
B	目標の達成に向け更なる取組を要する

個別目標達成に向けた課題
<p>診療連携では、小児がん早期発見のための県内の小児科医向けの診断支援、治療面では小児がん診療病院に対する技術支援を行う必要がある。</p> <p>研究連携では、小児医療センターの臨床研究体制は、同時に指定された他県の小児病院と比しても低い水準であって、早急に体制を整備)する必要がある(再掲)。</p> <p>教育連携では、小児がん診療病院向け看護専門研修ほか医療従事者向け研修を充実する必要がある。</p> <p>相談連携では、診療担当医、相談支援担当者間の連絡会など顔のみえる関係づくりが必要である。</p>

課題解決に向けた取組
<p>診療連携では、埼玉県小児医会と連携して診断ハンドブックを県内全小児科に配布するとともに、診療病院への医師派遣など連携支援策を講じる。</p> <p>研究連携では、H28年度、小児臨床研究センター(仮称)を設置し、文部科学省の研究機関登録を行い、臨床研究体制を整備・充実する(再掲)。</p> <p>医療従事者教育連携では、関東地区の4拠点病院と分担して、効果的な専門研修を実施する。</p> <p>相談連携では、新たに地域連携懇談会を開催し、地域の診療所、診療病院の小児科医、相談支援担当者の関係づくりを行う。</p>

個別目標	がん診療に携わるすべての医師が緩和ケア研修を修了している拠点病院の数
------	------------------------------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
0か所 (平成23年度)	全拠点病院	平成29年度	0か所	

取組状況
・緩和ケア研修会の実施による医師の養成 平成26年度 県及び17病院で269人養成

評価	コメント
B	研修実施の取り組みは十分行われているが、目標の達成には更なる取組を要する。

個別目標達成に向けた課題
医師の研修日程の確保が困難である。 病院間における医師の転出入があるため1病院において、100%を達成するのは極めて困難である。

課題解決に向けた取組
病院内部による受講の働きかけを継続するとともに外部研修の受講を促進していく。

【個別目標に関連する取組】

・緩和ケア研修会修了者数(医師)

H25年度 252名、H26年度 269名、H27年度(4～12月) 228名

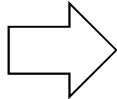
・緩和ケア研修会修了者数(コメディカル)

H25年度 109名、H26年度 121名

・緩和ケア病床数

H24年9月 6病院100床 → H27年8月 12病院232床

個別目標	地域統括相談支援センターの設置数
------	------------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
0か所	1か所	平成29年度	0か所	

取組状況
・地域統括支援センターの設置に関して協議中

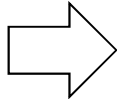
評価	コメント
B	設置に向け更なる取組を要する。

個別目標達成に向けた課題
県立がんセンター内でピアサポーターやハローワークによる出張相談など個別の取り組みは進めているが、地域統括相談支援センターの実施主体・設置内容について未調整。

課題解決に向けた取組
引き続き、地域統括支援センターの設置場所や体制などを検討していく。

<p>【個別目標に関連する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポーター養成者数 H25年度 21名、H26年度 19名</li> <li>・ピアサポーター相談件数 H25年度 170名、H26年度496名、 H27年度(4～2月)477名</li> <li>・ハローワークによる出張相談 平成27年度(4～1月)59名</li> </ul>
---

個別目標	がん文庫の設置
------	---------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
0か所	全拠点病院	平成29年度	0か所	

取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点病院に対してがん文庫の設置の働きかけを実施</li> <li>・NPO団体開催の短期のがん闘病記コーナーを近隣拠点病院が見学</li> <li>・闘病記検索サイトのリンクを県ホームページに貼付</li> </ul>

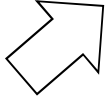
評価	コメント
C	拠点病院における図書室の設置は進んでいるが、がん文庫は設置されておらず、目標の達成は困難。

個別目標達成に向けた課題
司書・相談員等職員の確保が必要とされるため、設置が進まない状況である。

課題解決に向けた取組
引き続き各拠点病院・県指定病院に対してがん文庫の設置の働きかけを実施 引き続き闘病記検索サイトのリンクを県ホームページに貼付

<p>【個別目標に関連する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室を設置する拠点病院数 13病院中8病院(平成27年9月現在)</li> <li>・県立久喜図書館に「がん情報コーナー」を設置(平成26年3月～)</li> </ul>
---

個別目標	ピアサポーターによる対応が可能な相談支援センター
------	--------------------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
0か所	全拠点病院	平成29年度	1か所	

取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県でピアサポーターを40人養成</li> <li>・県立がんセンターで、研修を修了したピアサポーターによる相談支援を実施 (週2回 平成26年2月～) (週3回 平成27年7月～)</li> </ul>

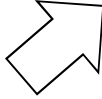
評価	コメント
B	目標達成に向け更なる取組を要する。

個別目標達成に向けた課題
相談支援センターとの連携体制など、受け入れ側の病院との調整に時間を要する

課題解決に向けた取組
拠点病院会議の場など等を活用し、これまでの取組み事例を紹介するなど、開設に向けた働きかけを行う。



個別目標	(仮称)がん在宅療養相談支援センターの設置数
------	------------------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
0か所	15か所	平成29年度	5か所	

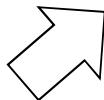
取組状況
・在宅療養を希望するがん患者の居住地にある医療資源等の電話相談支援を行う「がん在宅療養相談支援センター」を県内5か所の訪問看護ステーションで開設(平成26年10月～)

評価	コメント
B	目標達成に向け更なる取組を要する

個別目標達成に向けた課題
「がん在宅療養相談支援センター」設置充実のため、関係機関との調整が必要である。

課題解決に向けた取組
これまでの相談実績を分析し、地域の実情に応じた「がん在宅療養相談支援センター」の設置を進めていく。

個別目標	在宅療養支援診療所数
------	------------

計画策定時	目標値	目標年度	最新値 (時点)	傾向
432か所 (平成23年度)	700か所	平成29年度	491か所 (平成27年4月1日)	

取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療提供体制充実支援事業の実施 郡市医師会などに在宅医療連携拠点を整備、急変時の入院先確保等(H27:15地域 H28以降:30地域)</li> <li>・埼玉県在宅医療連携ガイドの作成・配布</li> </ul>

評価	コメント
B	目標達成に向け更なる取組を要する

個別目標達成に向けた課題
平成28年1月までに15か所の在宅医療連携拠点の設置が完了したが、立ち上がって間もないため、今後はより多くの県民等への周知と拠点業務の充実が必要となる。

課題解決に向けた取組
<p>県の広報誌やHPなどで在宅医療連携拠点を積極的にPRするほか、市町村にも広報を依頼していく。</p> <p>また、在宅医療連携拠点のコーディネーター研修会を開催し、全体の底上げを図る。</p>